

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		自転車駐車場維持管理事業		担当課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち		計画期間
	施策	交通安全の推進		種別
	基本事業	交通安全施設等の整備		市民協働
予算科目コード		01-020102-04 単独	根拠法令・条例等	守谷市自転車駐車場設置及び管理に関する条例

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 新守谷第一自転車駐車場は、シルバー人材センターに委託（午前7時～午後10時）し管理運営を行う。また、南守谷自転車駐車場は定期的に駐輪指導を行い適切な管理に努める。なお、竣工から30年以上が経過している新守谷第一自転車駐車場については、年々利用者が減少していることから、維持管理方法の見直しを行う。
旧住宅都市整備公団の住宅開発により、新守谷駅利用者のために整備された駐輪場が、新守谷第一自転車駐車場として市に移管されたため。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
「守谷市自転車駐車場設置及び管理に関する条例」及び「守谷市自転車等の放置の防止及び自転車駐車場の整備に関する条例」に基づき新守谷第一自転車駐車場及び南守谷自転車駐車場の適切な管理運営を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
危険個所を減らし、道路の安全性向上を目指す。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
施設の老朽化と利用者の減少に伴う維持管理経費削減のため、新たな自転車駐車場を設置することに決定した。新年度からの供用開始に向け適切に施工管理等を行う必要がある。	新自転車駐車場設置 ・11月 工事入札 ・12月 条例改正 ・12月～3月 進捗状況確認会議（毎週） ・3月31日 旧施設閉鎖 ・4月1日～ 新施設供用開始 旧施設の侵入防止対策実施 旧施設及び土地の利活用について検討
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
供用開始に向けて、財政課及び施工業者と定期的な打合会議を開催し、工事の進捗状況の把握に努める。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☒ 削減	管理人を置かない使用料無料の新たな自転車駐車場を設置するため、シルバー人材センターへの管理委託料が削減になる。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の取組（評価、課題への対応）
利用者の減少に伴う維持管理経費の削減を図るため、老朽化した新守谷第一自転車駐車場にかわる、新たな自転車駐車場を建設する。	新守谷第一自転車駐車場について、老朽化し、利用者も減少していることから、利用者数に見合った無人で無料の自転車駐車場（新守谷自転車駐車場）を新たに建設し、維持管理経費の削減を図った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
新守谷第一自転車駐車場利用率（％）	25.00	12.60	10.70	0.00	70.00
放置自転車の移動数（台）	200.00	150.00	86.00	0.00	50.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	施設の老朽化と利用者の減少に伴い、新守谷第一自転車駐車場の利用率は低下しているが、新たに建設した新守谷自転車駐車場については、駐輪指導や定期巡回等を行い利用率の向上を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	新たに設置した新守谷自転車駐車場及び既存の南守谷自転車駐車場の維持管理を継続するとともに、閉鎖した新守谷第一自転車駐車場の解体時期等について検討を進める。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	6,039	5,800	14,588	742	742
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,968	1,844	14,588	1	1
	一般財源	4,071	3,956	0	741	741
正職員人工数（時間数）		0.00	158.00	243.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	648	996	0	0
トータルコスト		6,039	6,448	15,584	742	742

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		交通安全施設整備管理事業		担当課	交通防災課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち		計画期間	年度～
	施策	交通安全の推進		種別	任意の事務
	基本事業	交通安全施設等の整備		市民協働	その他
予算科目コード		01-020102-06 補助	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 市民及び自治会等からの要望や連絡，警察との協議によりカーブミラーや路面標示等の交通安全施設の設置と修繕を行う。
交通事故の減少を目指して，交通安全施設の整備と維持管理を実施している。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
交通事故を未然に防止するため，危険箇所への交通安全施設の整備と適切な維持管理を行い，歩行者や通行車両の安全確保を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
交通ルールやマナーの向上を目指す。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
交通事故の未然防止のため，交通危険箇所への交通安全施設の設置及び破損や老朽化により修繕が必要な交通安全施設（カーブミラー等）について，日頃から把握に努めるとともに迅速に対応する必要がある。	防犯指導員による防犯（交通安全施設）パトロール（平日・通年）
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
交通安全施設（カーブミラー等）を適正に維持管理し常に良好な状態に保つため，毎日（平日）実施している防犯指導員の防犯パトロールを活用し，交通危険箇所等の把握に努める。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	交通安全施設の設置修繕のための費用であり，今後必要である。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度 of 取組（評価、課題への対応）
交通危険箇所への交通安全施設（カーブミラー等）の整備や既存施設の修繕は交通事故に繋がる可能性もあることから迅速な対応を行う必要がある。	市民からの要望に基づき、交通危険箇所への交通安全施設（カーブミラー等）の設置を行い、修繕等が必要な施設については、適切な維持管理に努めた。 平成29年度から事務の効率化を図るため「交通安全施設整備事業」、「交通安全施設維持管理事業」を統合し、事業名称を「交通安全施設整備管理事業」に変更した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
カーブミラーの設置総数（累計）（箇所）	1, 449. 00	1, 529. 00	1, 555. 00	1, 589. 00	1, 679. 00
	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	カーブミラー等を設置したことにより、交通危険箇所が減少し歩行者や通行車両の安全確保につながった。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	交通危険箇所の減少と交通事故の未然防止を図るため、交通安全施設の整備と維持管理を進める。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	4, 045	3, 420	4, 726	4, 921	4, 921
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	4, 000	3, 000	4, 306	4, 921	4, 921
	一般財源	45	420	420	0	0
正職員人工数（時間数）		0. 00	253. 00	189. 00	0. 00	0. 00
正職員人件費		0	1, 037	775	0	0
トータルコスト		4, 045	4, 457	5, 501	4, 921	4, 921

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		交通安全施設整備事業（ガードレール外側線等）		担当課 建設課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち		計画期間 昭和58年度～
	施策	交通安全の推進		種別 法定＋任意
	基本事業	交通安全施設等の整備		市民協働
予算科目コード		01-080201-03 補助	根拠法令・条例等	道路法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 交通安全施設工事（ガードレール，車止め，区画線等設置工事一式）を実施する。
道路の危険箇所等における歩行者や車両の交通事故等の減少を図るため。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
交通安全施設の新設・維持及び改善を図り，交通の安全性を確保する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
危険箇所を減らし，道路の安全性向上を目指す。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
交通安全施設（区画線，ガードレール等）の未設置及び施設の劣化や破損などを早期に発見する必要がある。	守谷市災害対策協力会の協力によりパトロールを月一回実施する。 市民投稿アプリの投稿レポートの速やかな対応（随時）
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
危険個所の早期発見ため，安全パトロールを重点的に実施する。 また，今年度から運用開始した市民支援総合アプリの投稿レポートの活用により早期対応を図る。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実績（評価、課題への対応）
交通安全対策の優先順位の高い箇所に区画線・車止め等を整備し、道路の安全を確保する。	交通安全対策の優先順位の高い箇所に区画線・車止め等を整備した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
市内で発生した人身交通事故件数（年単位）（件）	190.00	158.00	196.00	190.00	200.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	危険箇所へ交通安全施設を設置することにより、安全な道路環境を維持した。 今後も、危険箇所を早期に発見し、交通安全の向上を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	市民要望やパトロール等で発見した危険箇所に、早期に交通安全施設を設置し、安全性の確保を図る。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	5,944	4,468	4,491	4,498	4,498
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	4,500	4,468	4,491	4,498	4,498
	一般財源	1,444	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	7.00	29.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	29	119	0	0
トータルコスト		5,944	4,497	4,610	4,498	4,498